

女性ヴォーカル愛好家の間で、根強い人気を誇る歌手アン・フィリップスの代表作。失恋の歌を中心に語りかけるように歌っており、聴く者の気分を盛り上げてくれる。

WPCR-29247 **歌詞付 [ROULETTE]**

アン・フィリップス 『ポイントゥ・ビー・ブルー』




①ロンリー・ヴァル ②アイヴ・ガット・トゥ・バスキュア ③ハウストゥ・ゲット・トゥ・マイン ④ア・ストレンジ・マン・イン・タウン ⑤アイドント・ウォント・トゥ・ウォーク・ウィズアウト・ユー ⑥セア・ウィル・ネヴァー・ビー・ア・ナザー・ユー ⑦ホエー・サニ・ゲッツ・アップル ⑧フォー・ヘッド・オブ・ブルー ⑨サ・デイ・ナイト・イズ・サ・ロンリー・エイント・ナイト・イン・ザ・ウエイク ⑩ジー・ストリート ⑪フォー・ヘヴンズ・セイグ ⑫イット・クッド・ハブ・トゥ・ユウ ⑬ユードント・ウ・ホワット・ラウイズ
アン・フィリップス (vo.)、カーム・トレスリー (arr. cond.)、オーケストラ
【録音】1959年 ニューヨーク

50年代にレイ・チャールズ・シンガーズをはじめとするコーラス・グループで歌い、テレビをはじめスタジオ・ワークを多くこなしていたアン・フィリップス。クールな歌声とともに、ジャズ・ナンバーを心地よいボッサ・アレンジで聴かせている。本作の1か月前に制作されたばかりであるズート・シムズの人気盤「ニュー・ビート・ボッサ・ノヴァ Vol.1」に収録されていた(リカード・ボッサ・ノヴァ)をスキットで演じるあたりもお洒落である。

コルピックス時代の最後を飾ったストリングスとの共演作。デビュー時代にヒットさせた名曲の再演をはじめ、スタンダードなど、全編で二ーナ節を堪能できる。

WPCR-292490 **歌詞付 [COLPIX]**

ニーナ・シモン・ウィズ・ストリングス




①アイ・ラヴ・ユー・ボー・ギー ②ブラック・バード ③フォーリン・グレイ・ラヴ・アゲイン ④パブル・パンダ・ス・アンド・ド・ビーズ ⑤スプリング・イズ・ヒア ⑥サツ・オール ⑦チェイン・キャンク (ワーク・ソング) ⑧ザ・マン・ウィズ・ア・ホーン ⑨ボー・ギー・アイ・イズ・ユア・ウーマン (ベス・ユーズ・マイ・ウーマン) ⑩ピグス・フット・アンド・ア・トル・オブ・ピア
ニーナ・シモン (vo. p.)、ストリングス・オーケストラ他
【録音】1964年 ニューヨーク(推定)

ニーナ・シモンがコルピックスを離れたあとにリリースされたアルバムで、同レーベルに吹き込んだものの未発表になってしまったものや別テイクなどが集められている。ほとんどの曲でストリングスがオーヴァー・ダビングされているが、ニーナの個性を少しも損ねるものではない。出世作となつた(アイ・ラヴ・ユー・ボー・ギー)の再吹き込みをはじめ、幅広い選曲とともに、しみじみとしたニーナの歌唱が心にのこるアルバムになっている。

フィリピン出身の美人歌手が、おなじみのスタンダードを歌ったオシャレなボッサ・ノヴァ・アルバム。人気テナー奏者、ズート・シムズの参加も魅力的コルピックスの人気盤。

WPCR-29248 **歌詞付 [COLPIX]**

ヴァイ・ヴェラスコ・ヘズート・シムズ 『カンタンド・ボッサ・ノヴァ』




①アイ・ガット・リズム ②リカード・ボッサ・ノヴァ ③アイ・ガット・ブレンティ・オ・ナツテン ④心の糸をかき鳴らせ ⑤チーク・トゥ・チーク ⑥かくて天使は歌う ⑦ドント・フール・ウィズ・ラヴ ⑧ユウ・アンド・アイ ⑨ドント・コールド・ジョー ⑩イク・ザ・トリ・ライク・ユウ
ヴァイ・ヴェラスコ (vo.)、ズート・シムズ (ts.)、マキーマコヴィツ (tp.)、ジム・ホール (g.)、マウ・アルバム、アル・コーン (arr) 他
【録音】1962年10月1日、2日 ニューヨーク

フィリピン生まれで幼い頃にアメリカへ渡り、ミュージカルの世界でも活躍したヴァイ・ヴェラスコが62年に吹き込んだ貴重なボッサ・ノヴァ・アルバム。クールな歌声とともに、ジャズ・ナンバーを心地よいボッサ・アレンジで聴かせている。本作の1か月前に制作されたばかりであるズート・シムズの人気盤「ニュー・ビート・ボッサ・ノヴァ Vol.1」に収録されていた(リカード・ボッサ・ノヴァ)をスキットで演じるあたりもお洒落である。

ジェラルド・ウィルソンの編曲、西海岸で録音された隠れた傑作。モダン・ジャズの名曲とバラード中心の選曲で、オルガン・コンボをバックに情感たっぷりに歌い上げる。

WPCR-29250 **国内初CD化** **歌詞付 [ROULETTE]**

サラ・ヴォーン 『サラ・シングス・ソウルフリー』



①蜜の味 ②ホワット・カインド・オブ・フル・ム・アイ ③涙の乾くまで ④サー・モネット ⑤イン・ラヴ・イン・ウェイ ⑥グレイ・ウィー・ワルツ ⑦ザ・グッド・ライフ ⑧モーニン ⑨ラウンド・ミッドナイト ⑩イージー・ストリート ⑪家に帰らないか ⑫ミッドナイト・サン
サラ・ヴォーン (vo.)、カール・ジョンズ (tp.)、ティ・エドワーズ (ts)、ジャック・ウィルソン (org.)、ジェラルド・ウィルソン (arr) 他
【録音】1963年5月、6月 ロサンゼルス

オルガンの響きを生かしたジェラルド・ウィルソンの好アレンジをバックに、サラ・ヴォーンが(蜜の味)(ホワット・カインド・オブ・フル・ム・アイ)などのポップ・チューンや、(サー・モネット)(モーニン)などのファンキーなジャズ・オリジナルを歌っている。どのような作品をとらけても、その解釈はまさにサラ・ヴォーン流。自由で奔放な節回しとともに、いずれも完璧に歌いこなしてゆくのが素晴らしい。

JAZZ MASTERS COLLECTION 1200



名門アトランティック、ワーナー・ブラザーズ・レーベル等に、新たに加わったルーレット、ルースト、ジュビリー、コルピックス等の名盤、初CD化のレア盤をSHM-CD仕様、特別価格でリリースするシリーズの第7弾&8弾。

第7弾 全25タイトル: 2017年4月26日発売

第8弾 全25タイトル: 2017年5月24日発売

24bit デジタルリマスタリング 完全限定盤 / SHM-CD仕様

特別価格 各¥1,200+税

Jazz Mission To Moscow (COLPIX) featuring top jazz artists on their return from tour of Soviet Union 1962. Artists include Gene Allen, Jerry Dodson, Markie Markowitz, Jimmy Maxwell, Eddie Costa, and Mel Lewis.

STITT (COLPIX)

SARAH VAUGHAN SWEET 'N SASSY (ROULETTE)

HAVE MOOD WILL CALL... (ROULETTE) featuring Charles Mingus, Cecil Taylor, and Charles Davis.

LALO-BRILLIANCE (ROULETTE) featuring Lalo Schifano.

NEW BEAT BOSSA NOVA (COLPIX)

THE FOUR SOME (ROULETTE) featuring The Foursome.

JOE PUMA JAZZ (ROULETTE)

ZOOT SIMS AND HIS ORCHESTRA (ROULETTE)

TOP 10 OF JAZZ MASTERS COLLECTION 1200

対象: 第5弾~第6弾 (50タイトル)

1 **ジョニー・スミス** 『デザインド・フォー・ユー』 (国内初CD化) WPCR-29157

2 **フィル・ウッズ** 『ライヴ・アンド・ウェル・イン・パリ』 (国内初CD化) WPCR-29151

3 **ズート・シムズ** 『オン・デクレテ・トムソン』 (国内初CD化) WPCR-29176

4 **ジーン・ハリス** 『ジニー・イン・マイ・ソウル』 (国内初CD化) WPCR-29169

5 **ジョニー・スミス** 『プラス・ザ・トリオ』 (国内初CD化) WPCR-29183

6 **サラ・ヴォーン** 『スター・アイス』 (国内初CD化) WPCR-29175

7 **サラ・ヴォーン** 『ロンリー・アワーズ』 (国内初CD化) WPCR-29200

8 **ベティ・セント・クレア** 『ホワット・イズ・セア・トゥ・セイ』 (国内初CD化) WPCR-29171

9 **ジョー・プーマ** 『ビル・エヴァンス・ジャズ』 (国内初CD化) WPCR-29158

10 **ジーン・ハリス** 『アワ・ラヴ・イズ・ヒア・トゥ・ステイ』 (国内初CD化) WPCR-29184

こちらよりダイジェストで試聴いただけます。

※Spotifyへの無料会員登録が必要となります。

SHM-CD (Super High Material CD) とは... 通常のCDとは別種の液晶パネル用ポリカーボネート樹脂を使用することにより、素材の透明性をアップ、マスタークオリティに限りなく近づいた高音質CDです。

※この商品の高音質とはマスターに対する高音質再生の意で、音質に関する詳細は各商品により異なりますのでご確認ください。

※SHMおよびSHM-CDロゴは、ユニバーサルミュージック合同会社と株式会社JVCケンウッドの登録商標です。

2017年4月26日発売



第7弾 (全25タイトル)

ビ・バップの流れを汲むスティットがビッグ・バンドをバックに安定感のあるソロを披露した60年代中期の傑作。

WPCR-29202 [ROULETTE] ソニー・スティット『ザ・マタールズ・ミート・ザ・ブル・スティット』

豪華なメンバーによるアンサンブルをバックに、ソニー・スティットがアルトとテナー・サクスを両たてと吹きまくっている。

仏の名門ジャズ祭で繰り広げた白熱のライヴ。「四月の想い出」では盟友パド・パウエルとの再会が実現!

WPCR-29204 [ATLANTIC] チャールズ・ミンガス『ミンガス・アット・アンティープ』

あの「ミンガス・プレゼンツ・ミンガス」が吹き込まれた3ヵ月前、同メンバーにテナーのブッカー・アーヴィンが加わったフランス「アンティープ」ジャズ祭での熱いステージの様子がとらえられている。

渦巻くハーブと荘厳なチェロの響きが印象的なカーク晩年の人気盤。スピリチュアルな「エニシヤ」、サン・リズムに乗った「ドナリー」、ドラマが深えるワルツ「シモーネ」など、聴きどころ満載。

WPCR-29205 [ATLANTIC] ローランド・カーク『アザー・フォークス・ミュージック』

哀愁を帯びたメロディーがハーモニカによって奏でられる「ウォーター・フォー・ロビン・アンド・ウ・リリアムズ」、ラテン・リズムに乗せて熱狂的なフルート・ソロが聴ける「ドナリー」、ロイ・ヘンズとカークの社長のバルド・ユークがフィーチャーされる「シモーネ」。

ソ連の楽旅を終えたモダン派の精鋭が帰国後ロシア民謡などを題材に軽妙な演奏を聴かせた人気盤。

WPCR-29201 [COLPIX] スート・シムズ&フィル・ウッズ『ジャズ・ミッション・トゥ・モスコウ』

ペニー・グッドマン楽団のメンバーとして1962年、歴史的なソ連公演をおこなったバンドのピックアップ・メンバーを中心に、アメリカへ戻った直後に制作されたアルバムで、

記念すべきワーナー移籍第1弾。トミー・リビュア&マーカス・ミラーとのコラボレーションで作り上げた、80年代復活後のマイルスが残した金字塔的作品。

WPCR-29203 [WARNER BROS.] マイルス・デイヴィス『TUTU』

30年に及ぶCBS時代に終わりを告げてワーナーへと移籍したマイルス・デイヴィスの、このレベルからの第1弾。トミー・リビュア・プロデュースのもと、マーカス・ミラーを音楽監督にむかえて制作されたマイルス流ブラック・ファンクの世界。

普段はアルト・サクスを演奏するオーネットが、全編テナー・サクスに取り組んだ異色作。ベースはホルトレインのカルテットで活躍したジミー・ギャリソン。

WPCR-29205 [ATLANTIC] オーネット・コールマン『オーネット・オン・テナー』

ジャズの革命児オーネット・コールマンが、テナー・サクスを吹いている異色の1枚である。アルトではなくテナーを手にしたからといって、オーネットのアブストラクティブな

ジュブリーをゲストに迎えた初期の名盤。知的に抑制されたグルーブ・サウンドと、素朴なクラリネットの調和がそこはかな美しい。

WPCR-29207 [ATLANTIC] モダン・ジャズ・カルテット・ウィズ・ジミー・ジュブリー

マサチューセッツ州にある舞臺として知られたレノックスで毎年夏に開かれた「ミュージック・イン」、その中心メンバーだった名盤。ジュブリー率いるMJQが同地で吹き込んだもので、3曲にはゲストビジー・ジュブリーが参加している。

映画「真夏の夜のジャズ」の劈頭を飾ったジミー・ジュブリーの代表傑作。クラリネット、テナー、バリトンと3種類のリード楽器を自在に操り、ギターとベースをバックにした牧歌的でフォーク調のジャズ演奏を聴かせる。

WPCR-29208 [ATLANTIC] ジミー・ジュブリー3

西海岸のサクスメイヤー、アレクサンダーのジミー・ジュブリーが、シンプルな編成の中に彼の音楽コンセプトを結実させた「ジミー・ジュブリー3」のデビュー・アルバムである。

ギターの名手が、カルテットではなくフォーサムと銘打ったシリーズの第1弾。パップとクルールを融合させた切れ味のある演奏を展開。ドビュッシューの名曲を含むソロも秀逸。解説もスミス自ら執筆。

WPCR-29210 [国内初CD化] ジョニー・スミス『フォーサム Vol. 1』

美しいハーモニでメロディーを奏でてゆくジョニー・スミスならではの魅力が、よく発揮されている作品である。

ルーストにおけるスミスの作品の中でも二枚のうち1枚。愛嬌を描いたジャケットも印象的で、心地よいストリングスとの共演はBGMとしても楽しめる。

WPCR-29212 [ROOST] ジョニー・スミス『マイ・ディア・リトル・スイートハート』

ジョニー・スミスのギターを中心とする美しいリトアのバックを、16人編成のストリングス・アンサンブルが優しく包み込んでゆく、演じられるのはスタンダード曲が中心。唯一の

詩人ラングストン・ヒューズとの共同作業で、自由なアフリカへの回帰を訴えた鬼才の大作。メル・パレン編曲による雄大なサウンドもスケール満点。クラブ・シーンでも人気の1枚。

WPCR-29214 [国内初CD化] [ROULETTE] ランディ・ウェストン『ウルフ・アフリカ』

アフリカ志向を強く打ち出すとともに、ジャズとアフリカ音楽を融合させた黒人の自由と解放を謳い上げていたピアニストのランディ・ウェストン。「ウルフ・アフリカ」(アフリカに自由を)は、そんなウェストンが心血を注いで書き上げた、全部で4つの楽曲からなる大作。複数のバージョンを含めて、20数枚になるオケスター・アルバムにウルフ・カールもまじえ、ランディが見事に理念を結実させた壮大なアフリカ絵巻。

知る人ぞ知るカナダの名手がジュブリーに隠れた名盤。前半はフルート、後半はアルト・サクスを吹き、どちらも50年代のモダン・ジャズらしい演奏を繰り広げる。

WPCR-29209 [国内初CD化] [JUBILEE] モー・コフマン『ザ・シェパード・スウィングス・アゲイン』

〈スウィング・イン・シェパード・ブルー〉のヒットを放ったカナダ出身のフルート、サクスメイヤーのモー・コフマンが、58年吹き込んだ続編ともいべきジュブリー盤。ジャズ

スミスの諸作のなかで、人気の高いフォーサム・シリーズの第2弾。「ディー・ナイト」「イースト・オブ・ザ・サン」などモダン・ジャズ人気曲を収録。格調高いピアノ・ソロも必読。

WPCR-29211 [国内初CD化] [ROOST] ジョニー・スミス『フォーサム Vol. 2』

[Vol.1]に続いて吹き込まれたもので、ベースとドラマーが入れ替わったものの、50年代半ばから一線にプレイをおこなっている気心の知れたメンバーのうち、もちろん

ディジー・ガレスピーとの共演でも知られるアルゼンチン出身のピアニストが、ラテン・タッチのモダン・ジャズに取り組んだ隠れた名盤。

WPCR-29213 [ROULETTE] ラロ・シルフィン『ラロ・プリリアン』

南米からアメリカへ渡って大活躍したアレクサンダーのラロ・シルフィン。そんな彼がまだ渡米間もなかった頃にルードンに吹き込んだ一枚で、ジャズンでありながらラテン・テイ

西海岸で活躍し、そのエンターテインメント性の高いピアノでは人気を博したオルテガが、ニューヨークの名門クラブ「エンバース」に初出演した際に収録された記念すべきライブ盤。

WPCR-29215 [国内初CD化] [JUBILEE] フランキー・オルテガ『アット・ジ・エンバース』

ピアニストのフランキー・オルテガがトリオを率いて、ニューヨークの洒落たクラブ「エンバース」で繰りひろげたハッピー・ニュー・ステージ。ライブならではのリッチな空間気

